



仁誠会通信

心ひとつ



やさしく
やわらかく
あたたかく

第33号
2021.4



目次

2-3 ● 2021年度を迎えるにあたり

仁誠会 理事長 田尻 哲也

仁誠会介護統括本部長

仁誠会看護部長・仁誠会技士部長

4-5 ● 永年透析 20年・30・40年を語る

● 平成14年からの赤とんぼのご利用者さんのご紹介

6-7 ● 2020年度入職者～私たちの1年間の成長～

8 ● 管理栄養士による「簡単レシピ」

● 2021年度「地域支援活動」のご案内

2021年
入職おめでとう
ございます

2021年4月1日
医療法人社団仁誠会 入職式

心技体の 向上



医療法人社団 仁誠会
理事長 田尻 哲也

昨年1月より新型コロナウイルス感染拡大となり、世の中は3密をさけることやソーシャルディスタンス、外出自粛などといった個人と個人の絆の分断が起こっております。さらに各所でのクラスター発生により緊急事態宣言など想定外の事象も起こっており、本当に先行き不透明な状況です。

その中でも私たち仁誠会職員は惑わされることなく、より強固な地盤固めとして今年度も昨年度に引き続き、『心技体の向上』を目標に取り組んでいきます。

『心が豊かであれば、体は鍛錬されてゆき、技に磨きがかかる。』『技を磨き上げれば、心が豊かに育ち、体も鍛錬されてゆく。』『体を鍛錬すればこそ、心が豊かに安定して、技は我が身に染まる。』仁誠会ではフィロソフィを通して以前より『謙虚な心』『前向きな心』『感謝の心』の育成を大事にしてきました。

謙虚な心を持つと他者に興味関心を持てるようになります。そうすると、自分の成功は自分だけの手柄ではなく、周囲の人が努力して協力してくれたおかげだという周囲の人や自然の力に対する感謝の気持ちが起こります。その気持ちになると前向きに何事にも取り組めるようになります。

前向きな心を創造することができれば、おのずと技も磨かれ、さらに精神的にも肉体的にも健康になります。前向きな心は新型コロナウイルスに感染しない自己免疫力を向上し、クラスター発生予防に繋がります。今年度は心のありようを意識して、よりよい人間関係を構築していく所存です。

これは、患者さんや利用者さんに対しても同じです。お一人おひとりの考えや思いを丁寧にお聞かせいただき、一緒に明るい未来に対しての第一歩を前向きな心で歩んでいきましょう。

昨年度より自立支援とサルコペニアに対しての取り組みを実施しています。具体的には筋肉量が減少して筋力低下や身体機能低下した状態になり、転倒や骨折、寝たきりなどの生活の質が低下することがないように栄養状態の評価や運動・筋力維持へ取り組んでいるところです。一度きりの人生ですので、どうか生涯現役社会を目指して、高齢になったり病気になっても、やりたいと思っている夢を実現できるように一緒に取り組んでいきましょう。

これから仁誠会は健康企業を目指します。どうか一緒に日本一元気な医療介護施設を創りましょう。『今を変えなければ、未来は変わらない』トライ&エラーの精神でチャレンジして一人ひとりが輝く2021年度にしましょう。

介護統括本部・ 看護部・技士部



東 健一、北野良子、宇並美佐子

～やさしく・やわらかく・あたたかく～
患者さんも利用者さんもそして働く職員も
「その人らしく」輝け！

仁誠会 看護部長 北野 良子

今年度看護部長に就任いたしました北野良子と申します。私事で恐縮ですが、仁誠会に22年前に入職し、看護師人生の半分以上をこの法人と共に過ごし、現在に至り愛着を持って仕事をしております。

さて、今年度の看護部の目標ですが、仁誠会の理念「心ひとつ」と看護部の理念～やさしく・やわらかく・あたたかく～の下、患者さんに寄り添い安全・安心はもとより、信頼を高める看護を提供していきたいと考えています。また、今年から在宅支援として訪問看護ステーションが介護部門より医療部門へ加わり退院時支援や在宅での療養に不安を持つ方のサポートができること心強く思っています。他職種連携して、在宅での患者、利用者さんの「その人らしく」を支援できるよう邁進してまいります。そして、現場スタッフの声に耳を傾け、少しでも働きやすいと思える職場環境を共に考え、個人がキャリア形成を楽しめるような、よりよいものにしていきたいと思えます。

理事長方針の「心・技・体」では、患者さん利用者さんが自分らしく生活できれば気持ちも安定してくると考え、自立支援及び在宅支援に力を入れていきます。また、フレイル・サルコペニアの予防という観点で他職種連携しながら運動と栄養を進めていきます。

このようなコロナ禍で患者さん、利用者さん、職員皆で、新しい生活様式を取り入れながら最善を尽くし、クラスター0に努めていきましょう。

未来を自分で描いていこう！ 「いのちのエンジニア」2021

仁誠会 技士部長 宇並美佐子

2020年度の技士のテーマは、未来に向かってはばたけ！「いのちのエンジニア」でした。2020年度一歩はばたいたところです。仁誠会技士は、20代の若手技士が全体の40%を占め、30代を合わせると75%にもなります。幸いなことに法人内にはベテラン看護師さんやベテラン患者さんが多くおられますので、技士はその方たちにもご指導をいただくことで日々成長しております。

理事長方針にある、「心・技・体」心を磨き、技を磨き、体を作る。技士というスペシャリストの技を磨くには心と体のバランスが重要になってきます。このバランスが崩れると歯車がかみ合わなくなり安心・安全な医療機器管理体制もくずれ、患者さんにもご迷惑をおかけすることになります。

新型コロナの発生など、これからも何が起きるかわからない時代を生き抜くために、技士一人一人が自走し、明るい未来を自ら描き創造していける人材の育成に今年度も取り組んでいきます。

～明るい未来を信じて～

「心を磨き」「技を磨き」「強い体づくり」

仁誠会 介護統括本部長 東 健一

介護統括本部長方針

- 1、赤とんぼ＝「必ず元気になってもらえる」トータルケアとしてエリアNo.1
- 2、先進的な取り組み 業界を牽引するグレートカンパニーとなる
- 3、働く人を大切に、働ける事を大切に、一人ひとりの成長を大切に
- 4、安定経営～Covid-19対策～

《目標》

1) 利用者一人ひとりを輝かせます

～利用者の心のスイッチを押す～

利用者の自立支援に力を入れ、プランニングからサービスの提供と他職種が連携し進めてきました。今年度は、更に個々の目標を具体化し、同時に利用者の心をサポートしていくことで、自立支援への取り組みを強化していきます。その為には、ご利用者の体調管理（感染予防対策・サルコペニア/フレイル対策など）チーム一丸となり利用者を支えていきます。

2) 職員一人ひとりが輝く

～今こそ力をつける時・職員一人ひとりの成長を～

3年計画で、ICT化（電子カルテ）を進めペーパーレス化を達成。WEB研修やWEB会議など導入し（移動レス）、業務改善・効率化へつなげ、1日労働時間を7.5時間へ変更することができました。更に有休消化率も高い数値を維持・離職率も5%以下と働く環境も充実し、働き方改革を進めることができている。今年度も、更なる業務効率化を進めるのと同時に、個々の職員のチャレンジ・スキルアップを法人全体でサポートしていきます。それぞれの職員が、1年後のあるべき姿を描き、目標達成を目指します。

3) 安定経営 ～Covid-19対策～

新型コロナウイルス感染症予防対策はもちろん、安心して施設の利用ができるようにご利用者・職員の健康管理を徹底していきます。『利用したい施設・事業所No.1』『働きたい施設・事業所No.1』

選ばれる施設・事業所へ、私達は個々のスキルアップ、チームワークを大切に、更には部門を超えた連携を強化し、2021年度の方針・目標（数値目標）を介護統括本部職員200名全員で達成していきます。

20年間の思いが走馬灯のように
駆け巡ってきます。

透析歴 20年

野方 紀美子さん
(仁誠会クリニック光の森)



今までの透析生活を振り返ると、20年間の思いが走馬灯のよう
に駆け巡ってきます。

私は35歳の時、遺伝性の多発性嚢胞腎と診断され、いずれは透
析が必要になるだろうと言われていました。ついに、平成13年1月
8日、50歳の時に仁誠会クリニック新屋敷にて導入しました。導入
後、1年半は体調がすぐれぬ日々でした。
でも、今では皆さんの顔を見るのが楽しみです。これからも、先生・
スタッフの皆様、よろしく願います。

名前を呼ばれると、朝ちょっと気持ちが
落ち込んで来た時不思議にちゃんと
元気になります。
いつも本当に有難うございます。

透析歴 20年

S・Aさん
(仁誠会クリニック大津)

私の20年前頃は脳出血を2回し、右半身不随になり、腎臓も悪
く大変具合の悪い状態で、市役所近くの病院に入院中でした。担
当の先生は、透析をしなければならぬことを早くから勧めてい
らっしゃいましたが、私は、いやだ!いやだ!透析をすることはもうこ
の世の終わりだ、などと考え、拒み続けていました。
いよいよ先生から、これ以上このままでは命にかかわるというこ
とで救急車を呼ばれ、先生自ら付き添ってくださり、中央病院へ運ば
れ、すぐ透析をする処置がとられました。あと一日遅かったならば
命がなかったとのことでした。

その後しばらく中央病院で入院加療し、落ち着いたところで、こ
こ仁誠会クリニック大津にお世話になることになりました。
私は右半身が不自由で車いすでもあり、最初から看護師の方々、
助手の方々にお手をかけることになりましたが、いつも笑顔で
手助けをしていただいたので安心して透析を受けることができ
ました。透析をする以前は神経がいつもピリピリの状態でしたが、
何かホッとする日々を送れるようになりました。主人も味噌汁に
入れる野菜などは必ず湯通しをするなど、透析をするものに合わ
せた材料や食事をとるよう気を使ってくれ、今日に至っております。
ここ仁誠会クリニック大津にお世話になり、いつの間にか20年
が経過したのです。先生方やスタッフの方々には、何時も明るく
丁寧に対応してくださって本当に感謝申し上げます。ちょっと気づ
いたことですが、スタッフの方々の病院での必須科目なのでしょう
か、患者の皆さんの名前を必ず言って下さいますね。新人のスタッ
フの方も短期間で覚えていらっしゃるようですね。名前を呼ばれる
と、朝ちょっと気持ちが落ち込んで来た時不思議にちゃんと元気
になります。いつも本当に有難うございます。

先に書きましたように、透析はいやだ!この世の終わりだみたい
に思っていたのですが、一緒に透析をされている仲間の皆さん方
が、とても明るく、透析が終われば仕事へと潑刺と戻っていく方も
おられ、その姿に本当に元気をいただいています。
半身不随で私には大きなことは出来ませんが、少しでも皆様方の
幸せを願って祈っていきたく思います。

人工透析を経験して
早くも20年たちました。

透析歴 20年

浦川 幸信さん
(仁誠会クリニック新屋敷)



人工透析を経験して早くも20年たちました。
この間、いろんな事がありました。スタッフの皆様には、何時もお
世話になり、感謝しております。最近自転車で走行中に落車しまし
て、1か月も入院しました。新屋敷クリニックでは、いい先生と楽し
いスタッフに囲まれて透析しております。後は自己管理をしっかり
して、頑張りたいと思います。

先生に出会えた事の喜びを、
しみじみ感じています。

透析歴 41年

向井 勝利さんの奥様より
(仁誠会クリニックながみね)



透析導入から今年で41年になりますが、その当時透析人生は、
わずか数年と聞いていたので、それはすごいショックでした。
子供は小学一年と幼稚園で、入院中のベッドで昼寝をする年齢で
したから毎日が大変で、学校への忘れ物が多く子供達に目が届か
なかった事、後に反省したのを思い出します。

また、再生不良性貧血を発症時には、途方に暮れました。
毎日、職場の若い人達が交代で病院に来て下さって、鮮血を輸血
してもらい命を繋げる事が出来ました。今ではとても考えられない
事で、本当に感謝してます。

まだ子供達も小さいから、出来るだけ自宅で一緒に過ごせるよ
うにと、主治医・師長さんの話し合いのもと在宅医療を進めて頂き、
体調が改善されたのをとても喜んだものです。
その後、黒髪クリニックで、田尻先生にお世話になり、夜間透析で
職場復帰もできました。

それから幾度かの病気を繰り返し、後遺症も残りましたが、す
でに子供達は独立し、二人での生活を続けていますが、時折先生に
お会いすると、優しくお声をかけて下さり、その度に私が救
われます。この事を友達に話すと、涙を流して感動し
たと喜んでくれます。先生に出会えた事の喜びをし
みじみ感じています。

もうすでに数年前から記憶障害もあり、自己管理
は出来ませんが、せめて、食事管理だけは私がなん
とか。特に「スープの力」が生命力を維持している様
に思いますので、今後も続けていきたいと思
います。上の孫は成人しましたが、まだ下の孫達の成長が楽し
みと言っておりますので、私の体力にも限界があり
ますが、出来る限り、自宅で過ごして行きたいと思
います。

平成14年からの
赤とんぼの
ご利用者さんご紹介

車椅子を卒業して
杖歩行ができるまで回復!
継続のコツは…

清崎 喜久子さん
(赤とんぼ通所リハビリテーション)



私は平成13年にクモ膜下出血で倒れて病院に入院し、右半身
麻痺の後遺症が残りました。車椅子生活で在宅生活を送ること
になり、リハビリ継続の為赤とんぼの入所を利用する事になったの
が平成14年でした。言葉が出ず身体も思うように動かずにもどか
しく気持ちが塞ぎ込んだこともありました。入所して機能訓練、言
語訓練や作業療法を頑張りました。

退所後は赤とんぼの通所リハビリテーションを利用しながら、車
椅子を卒業して杖歩行が出来るまで回復しました。継続のコツは
何事もやってみようと思え花や手芸等の趣味の講座を続け、楽し
みながら取り組みできたことです。もう一つは気の合う仲間がい
て楽しみを共有しながら利用できたことです。

今は支援認定で、週に1回の利用を楽しみに、元気に在宅の生活
を長く続けていきたいと思っています。



永年透析

20年・30年・40年を語る

永年透析表彰
おめでとうございます

・40年 木村 真由美さん(黒髪)
赤星 洋さん(新屋敷)
向井 勝利さん(ながみね)
高下 恵子さん(ながみね)

・30年 松永 カツ子さん(新屋敷)

・20年 益森 小百合さん(黒髪)
S.Aさん(大津)
大内 利徳さん(大津)
本田 玲奈さん(大津)
林 志保さん(大津)
浦川 幸信さん(新屋敷)
小谷 ほづみさん(ながみね)
野方 紀美子さん(光の森)



高下 恵子さん
(ながみね)



赤星 洋さん
(新屋敷)



木村 真由美さん
(黒髪)



小谷 ほづみさん
(ながみね)



本田 玲奈さん
(大津)



松永 カツ子さん
(新屋敷)

2020年度の患者新年会は開催中止とな
り、永年透析20年・30年・40年の患者さ
ん方への表彰と記念品贈呈は、各クリ
ニックで行われました。
(写真は、ながみねクリニック病棟にて
理事長より授与された様子です)



たくさんの経験を積むことができた1年。
これからもたくさんの事を
吸収していきたい

この1年でたくさんの経験を積むことができました。

まず、患者さんの名前と顔を覚えることから始まり、プライミング、回収、リーダー業務、至適透析、穿刺といういろいろ勉強し、仕事を覚えるのに必死だったように思います。

時には透析室で看護することに、難しさや不安に思うこともあり、くじけそうになりました。しかしそういう時に、先輩スタッフの方々に支えられ、今ここにいます。

これからも1日1日を大切にたくさんのご事を吸収していきたいです。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



仁誠会クリニック大津
大竹 美佐
(看護師)

最近では夜勤や穿刺に挑戦!

4月に入社して1年が経ちました。リーダー業務を一人でこなえるようになりましたが、最近では夜勤や穿刺などを先輩方に相談しながら挑戦しています。

まだまだできないことがたくさんありますが、一つ一つ疑問を解決し、自分の知識にできるように頑張っていきたいです。



仁誠会クリニック大津
富永 まどか
(看護師)

先輩のとても親身な指導で、今では 落ち着いて、運動やコミュニケーションが 取ることができています

4月に入社してから、最初は緊張の連続で、何をしていたか分からず悩んだ時期もありました。

しかしその時、プリセプターやチューターに業務内容の事や利用者さんの事で分からない事を相談し、とても親身になって指導して頂きました。そのおかげで今では落ち着いて、運動を教える時、利用者さんとコミュニケーションを取る事が出来ています。今後も利用者さんとコミュニケーションを取り元氣よく体操をしていきたいです。



赤とんぼリハ科
高橋 侑成
(リハ助手)

今、やりがいを感じています。 2年目はより成長できる年に!

入社後すぐは目の前の仕事を覚えるのに精一杯でしたが、入社して1年がたとうとしている今では、当初よりも気持ちに余裕が生まれ周りを広く見ることが出来るようになったと思います。また、利用者さんやご家族さんに自ら話しかけられるようになり、名前を覚えて頂いたり、ご家族さんから「窓口の対応が良い」とお褒めの言葉を頂き、やりがいを感じています。2年目はこの1年で学んだことを活かし、より成長できる1年にしたいと思えます。



ケアセンター赤とんぼ
村山 知愛
(フロント)

私たちの 1年間の成長

確実にしていくことの大事さを 教えてくれた 上司と先輩に感謝

仁誠会に入社してもうすぐ一年が経ちます。最初の方は今よりも分からないことが多く、周りとのスピードの違いに悩むこともありましたが、そんなとき上司は、今は遅くても一つ一つを確実にしていくことが大事だと教えてくれました。何でも相談できる先輩方のおかげで、リーダー業務やマシン業務を少しずつ成長出来ました。

一年目はリーダー検定に合格する事を目標に頑張ってきました。合格した後も初心を忘れず、一つ一つの業務を毎日確実にやっていきたいです。二年目では、マシンメンテナンスや穿刺に挑戦し、昨日までの自分自身を一つでも超えていけるように日々努力して、患者さんの為にも知識や技術を身につけていけるよう頑張ります。



仁誠会クリニック
ながみね
片山 幸乃羽
(臨床工学技士)

これから患者さんやスタッフから 頼っていただける技士へ ステップアップ!

入社してから1年間を通してスタート検定や回収検定、リーダー検定等に合格し少しずつ出来る事が増えていきました。最初は何をやるにも緊張し失敗することも多かったのですが、患者さんからの温かい言葉や先輩スタッフからの指導を受け、段々と自信もついてきました。これから患者さんやスタッフから頼っていただける技士になれるように、少しずつステップアップしていきたいです。



仁誠会クリニック
ながみね
樋口 詩織
(臨床工学技士)

前に進むごとに患者さんとの関わりが 増え、自分の成長に繋がっていきます

昨年4月に入社し、これまで、練習や復習を繰り返して、日勤マシン業務検定やリーダー検定など沢山の検定を受け、1人で出来る業務が増えました。これも周りのスタッフの方達の指導のおかげと感謝しています。新たなことに挑戦する事は、不安や緊張感も沢山ありますが、前に進むごとに患者さんに関われる機会が増えて嬉しいです。これからも、目標とする先輩方を毎日観察して、慎重に前に進んでいながら自分の成長に繋がっていききたいと思います。



仁誠会クリニック大津
大幸 薫子
(臨床工学技士)

課題を克服して出来る事を 増やした1年間。 それを上乗せする事ができる2年目へ!

最初は決められた勤務に沿った介助・対応をするのが精一杯でしたが、今はご利用者とのコミュニケーションやそこから得られるニーズ、ケアの観察といった視野が広がった事で気づける事も増えたように思えます。ですが、その成長と同時にタイムマネジメントを含め今後解決すべき自らの課題が多くある事にも気づきました。そのため私は、この初めての1年間の成長に対して、課題を克服して出来る事を増やした1年間を上乗せする事が出来る、そういった実感を持てる1年にしたいと思っています。



2020年度入職者卒業研修



赤とんぼ入所科
佐無田 朗
(介護福祉士)

共に働いた人との関わりで、 人間的に成長できた

仁誠会に入社する前の自分と比べ今の自分は大人になれたというか、人間的に成長できたと感じています。その要因として一番に考えられるのは、社会人として働く人と関わり、共に働いたことだと思っています。

計画的な行動や言葉遣い、相手への配慮などといったことが仁誠会クリニック光の森の先輩方のおかげで出来るようになりました。更なる成長を目指して精進したいと思います。



仁誠会クリニック光の森
田中 匠
(臨床工学技士)

先輩方からのアドバイスで 少しずつ課題の克服に繋がった1年

入社して最初の頃は、慣れない介護、その中でご利用者どう接していけばよいのかと、悪戦苦闘していました。しかし、周りの先輩方からアドバイスをいただき、少しずつ課題を克服出来ました。この1年間で、介護技術だけでなく、対人スキル、大勢の前に立って話す能力や、会議等に参加し、その中で自身の考えをまとめ、発言する能力が身についたと感じています。これからもたくさんのご事を学び、先輩方のように新しく入社する後輩をサポートできるよう日々努めていきたいと思っています。



赤とんぼ入所科
松岡 知良
(社会福祉士(介護士))

“なぜ?”の部分も少しずつ考え、質問へ。 以前より関連付けて 物事が進められるようになった

今はリーダー業務1人立ちに向けて情報収集や除水の考え方、緊急時対応が出来るように毎回指導を頂きながら頑張っています。まだ戸惑うこともあります。先輩方の動きや考え方をみて次に生かすようにしています。

技士としてマシン業務を行っているうえで、‘なぜ?’の部分も最近は少しずつ考え、質問することで以前より理解度が増し、関連付けて物事を進められるようになってきたと思います。

これから更に知識と技術を身につけてステップアップ出来る様に頑張りたいです。



仁誠会クリニック黒髪
松田 彩江
(臨床工学技士)

看護学校との両立も周りの支えがあり 資格取得後の糧となるよう励んでいます

入職時は本当に何もわからず、一つ一つ確認を取り、恐る恐る仕事を進めていきましたが、現在は基本的な検査業務は任せただけになりました。

心配だった看護学校との両立も、上司や先輩・周りのスタッフに支えていただくことで続けられており、資格取得後の糧となるよう勉学に励んでいます。

今は学業の合間でシャントエコー検査を練習しています。シャントの狭窄にいち早く気づき、PTAに繋がられるよう、独り立ちを目指して頑張っていきたいと思っています。



仁誠会クリニック新屋敷
宇都宮 真綾
(臨床検査技士)

スタッフや患者さんに沢山支えられ 成長できました! 感謝の気持ちを忘れず頑張ります

この1年間で穿刺時の介助、透析終了の回収作業、マシン業務、透析中のアラームの対応などが出来るようになりました。分からない事を丁寧に教えてくださったスタッフ、優しく見守って下さった患者さんに沢山の支えられ成長する事ができました!

まだまだ未熟で、これから勉強したい事も沢山あります。学ぶ姿勢を忘れないように、少しずつですが仕事のスピードやクオリティを上げていきたいです。感謝の気持ちを忘れずに毎日精一杯頑張ります。



仁誠会クリニック新屋敷
坂本 匠
(臨床工学技士)



ささみのサラダチキン

- 材料 ささみ…6本(180g~240gくらい)
砂糖…小さじ1/2 クレイジーソルト…小さじ1/2

●作り方

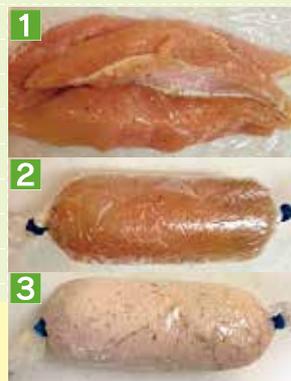
- ①ささみは白い筋を包丁で切り取る。(キッチンバサミを使用すると簡単)
- ②ビニール袋に入れ、砂糖、クレイジーソルトを加えよく揉みこむ。
- ③ラップを2枚重ね、ささみを互い違いに並べる(写真①)。空気を抜きながら筒状に巻く。巻き終わったらさらに上からもう1枚巻く。
- ④両端をキャンディー状にひねり、輪ゴムでしっかり止める(写真②)。
- ⑤冷蔵庫で半日置いて味をなじませる。
- ⑥鍋に肉が被る量の水を入れ、沸騰させる。沸騰したら火を止めて⑤の肉を入れ蓋をする(余熱で中まで火を通す)。お湯がぬるま湯くらいに冷めるまで置いた後、冷蔵庫で冷やす(写真③)。
- ⑦ラップを外し、5mm程度の厚さにスライスして完成。

ポイント!

- ・普通の塩で作る場合は、小さじ1/4に減らしてください。
- ・ハーブソルトやガーリックソルトなど味を変えてもOK。
- ・そのまま食べても、サラダやサンドイッチの具、棒棒鶏など、いろんなアレンジができます。
- ・ささみで作るので、しっとり柔らかく食べやすいです。
- ・薄味なので日持ちしません。冷蔵庫保存で3日程で食べきってください。

運動後は体内で筋肉の合成と分解が同時に進んでいます。糖質は筋肉の疲労回復、蛋白質は筋肉の材料となるのでどちらも食事で補給します。今回は肉類の中でも蛋白質を多く含む、ささみを使ったレシピをご紹介します。

仁誠会クリニックながみね
栄養科 赤塚 薫



- 栄養量:1人分
(サラダチキン40gのみ)
エネルギー46.2kcal
蛋白質9.89g 脂質0.34g
カリウム180mg リン94mg
塩分0.39g

2021年度 赤とんぼ「地域支援活動」

赤とんぼでは、それぞれ専門分野の職員が「健康講話」・「オレンジカフェ & 講話」を毎月第1土曜日に開催予定しています。

※コロナの状況次第では中止の場合もありますので事前にお問い合わせください

【お問い合わせ】

- ケアセンター赤とんぼ TEL:096-331-3737
- 赤とんぼ大津 TEL:096-273-9902

一緒に働く仲間を募集しています



スタッフ募集

- 医療・介護スタッフ
- 保育士

お問合せ先:仁誠会本部 人事/上野

TEL:096-360-7112

Eメール:jinsekai-madoguchi@jinsekai.or.jp

園児も
随時募集中!



医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-345-6533

■住宅型有料老人ホーム赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939

■通所リハビリテーション赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3535

■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973
TEL:096-232-9595

■住宅型有料老人ホーム赤とんぼ大津

TEL:096-273-9904

■通所リハビリテーション赤とんぼ大津

TEL:096-273-9902

●赤とんぼ訪問看護ステーション

TEL:096-273-9908

■仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-2
TEL:096-211-5151

■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1
TEL:096-285-3466

■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-2211

■介護老人保健施設ケアセンター赤とんぼ

TEL:096-331-3737

●赤とんぼ居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811

●赤とんぼ訪問介護事業所

TEL:096-331-8879

■介護付き有料老人ホーム赤とんぼ長嶺

〒861-8039 熊本市東区長嶺南6丁目25-97
TEL:096-368-8800

■小規模多機能ホーム赤とんぼ長嶺

TEL:096-368-8885

★赤とんぼ保育園(赤とんぼ長嶺敷地内)

TEL:096-288-9860

●個人情報保護について●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報に関して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関わる情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。



仁誠会窓口メールアドレス jinsekai-madoguchi@jinsekai.or.jp



仁誠会は、地元チーム「ロアッソ熊本」「熊本ヴォルターズ」を応援します!

